



IB 通信 12月号

2025 年度-NO.4



2025 年度 公開研究授業を終えて

育英西中学校

MYP コーディネーター

本村 文枝

11月20日（木）午後から、育英西中学校・高等学校の両方で公開研究授業を開催しました。午後から理科の公開授業を行った3年1組と、コミュニティープロジェクトの代表として中間発表をしてくれた生徒の皆さん、ありがとうございました！今年度は「学びの言語化」を研究テーマにして、授業実践を行いました。本校では授業での探究的な学びを通じて、主体的に行動できる人材、他者を巻き込み行動する人材を育てるプログラム開発をめざしています。

今年度は「学びの言語化」として、先生たちはどうすれば皆さんができるか」「学んだことを言葉で表現できるか」「協働学習の成果をどのように言語化するか」「どうすれば探究的な問い合わせについて創造的な意見交換ができるか」「自分たちの行動を振り返り、どう次の行動へ進むか」ということをテーマにしました。

下の図みは本校の教育実践を紹介する配布資料のページから抜粋したもので、皆さんが日ごろから意識していること、頑張っていることは見つかりますか？育英西の教育目標と、IBの教育目標は似ているところが多いのです。改めて育英西の教育目標を読んでほしいと思いましたので、ここに掲載しておきます。



「育英西中学校・高等学校 教育目標」

「国際社会に貢献できる女性の育成」を理念とする本校では、ものごとに向かう際のあるべき姿を示した「育英誓願」を重んじています。その中の一節に「問学修行に精を尽くし」「万事に完全を期す」という文言があります。これらのことばは、一生涯かけて学び続けること、また一人の人間として自らの行為に責任をもつことを重んじる本校の姿勢を表していて、これに基づき、教育目標が定められています。教育目標は以下の通りです。

育英誓願の精神にのっとり、敬・愛・信の心を教育の根幹として、人格の完成をめざし、国際的教養と品位・ゆとりをもった人間性豊かな女性の育成を期する。学校教育の全般にわたって教育効果の向上を期するため、次の努力目標をかかげて教育活動を推進する。

- 1.純真な人間愛をもって社会に貢献できる女性の育成をめざす。
- 2.知性・情操・健康の全ての面でバランスのとれた、調和のある人格の形成をめざす。
- 3.他者との違いを受容し、自他を尊重する姿勢の育成をめざす。
- 4.生涯にわたって学びつづけるために必要な、学びに向かう姿勢と学ぶための方法の獲得をめざす。



理科の授業実践 清永 美佳先生（理科2）@3年1組

いつも元気で明るい清永先生の学級では、普段通りのエネルギーあふれる授業が行われました。今回のユニットでは、「小さいけど大きい?!」というテーマで、天体について学びを深めていました。この日の授業は実際に天体のサイズや距離を理解するために、体育館をいっぱいに使って授業が展開されました。普段意識することがない宇宙の存在、天体の大きさ、神秘を実感することのできた活動になりました。IBの学びは知らないことを自ら取りに行き、自分でその知識を体得して構成していくことを大切にしています。この授業を終えた3年1組の生徒の皆さんには、知らず知らずのうちに「探究する人」になっていましたね。皆さんの宇宙を理解しようとする一生懸命さもとても良かったです！



この授業を見学してくださったお客様からの声を紹介します。「体育館を広々と使っていて、知識を与えていているのではなく思考力を伸ばしている授業であることに感心しました。」「自分は学生の頃理科の授業で体育館に行ったことはなかった。体を動かした効果的な学びだと思いました。」

そして事後の研究討議では助言者の先生から次のようなご発言をいただきました。「今までの学校は、知識や手法を生徒に詰め込んでいる状態で、そうすると子供たちは新しいことを想像しなくなる。男らしく、中学生らしく、理系らしくと閉じ込められている。そんな中であえて協働して挑戦していくことは大変だ。正解がないことに取り組んでいく。正解のないことに自らチャレンジしていくことが大切だ。」とおっしゃいました。私たち教育者はこのお言葉を聞いて、どう学校で実践していくか、みなで考え、取り組んでいくべき大事なお話だと感じています。

今年も生徒の皆さんに対するお褒めの言葉や、学校への励ましのお言葉を大変多く頂戴しました。来てくださった方に感謝の気持ちを持ちながら、日々の教育実践につなげていきたいと、また思いを新たにすることができます。ご来校の皆さん、本当にありがとうございました。

コミュニティ-プロジェクト中間発表会



5時間目と6時間目の間の30分間は、中学3年生のコミュニティ-プロジェクトの中間発表を見ていただく機会となりました。大変多くの見学者で、教室は熱気に包まれました。



参考観覧された方からの感想を載せておきます。

「資料も説明もわかりやすく、のびのびと関心を伸ばしているのがとても良かったです。」「プレゼンがとても上手でした。」「自ら課題をみつけ、解決策を考えている姿勢がとても良い。」「中学生の想像力と行動力に感動しました。」「コミュニティプロジェクトと ATL スキルのつながりをちゃんとと考えていた。」ここにはいただいた感想のすべて載せることはできませんが、どなたも中学生とは思えない頑張りだと大変驚いておられました。皆さんへのたくさんのお褒めの言葉は先生たちの力になります。公開授業で発表してくれた代表チーム皆さん、ありがとうございました！



保護者の皆様へ

早いものでもう12月、師走の頃を迎えました。いつもIBの教育活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。さて先日は、IBのアンケートにご協力くださりありがとうございました。概ね本校の教育に対して好意的な評価をいただき、大変感謝しております。その中で一つ気になったことがありましたので、最後にお伝えいたします。アンケートの中に、「生徒は図書室で必要な書籍の希望が出せる」という項目に対して、「知らなかった」というご回答を多数いただきました。これについては生徒の皆さんへの通知が十分でなかったことを反省しております。ご家庭でもぜひ紙の本について話題にしていただき、今後は図書のご要望を賜れましたらと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

